

平成 28 年度 第 2 回但馬定住自立圏共生ビジョン懇談会（但馬分科会）
会議録（要旨）

日 時	平成 29 年 2 月 2 日（木） 但馬分科会 14:00～15:30
場 所	豊岡市役所 2 階 大会議室
出席者	但馬分科会 9 名中 7 名
欠席者	但馬分科会（公立豊岡病院組合理事、公立八鹿病院事務部長）
事務局	豊岡市（政策調整部参事、政策調整課長、政策調整課長補佐、政策調整係主任）
関係市町	養父市（企画政策課長） 朝来市（総合政策課主査） 香美町（企画課長） 新温泉町（企画課長）
オブザーバー	兵庫県企画県民部市町振興課 企画班長

◎協議

分科会長	ここから私の方で進行させていただきます。よろしく申し上げます。現在の共生ビジョンの計画期間の終期が平成 28 年度末となっています。事務局からこれまでの取組成果等について説明をお願いします。
事務局	<説明> 【定住自立圏のこれまでの取組成果等について】
分科会長 （委員）	質問等があればお出しいただきたいと思います。 進め方ですけど、今日、この場で意見交換して今後、こういった手順で策定をしていくのでしょうか。
事務局	懇談会で委員の皆さんから意見をお伺いして、今後、次のビジョンに反映していく予定です。29 年度から新しいビジョンをスタートさせていきたいので、3 月中旬に策定し、4 月から新しいビジョンで進めていきたいと思います。また、例年、事業費の見直しに係る懇談会を開催させていただいていますが、夏以降に開催する予定です。
（委員）	その際に、懇談会の位置づけはどのようなものですか。
事務局	共生ビジョンの内容について、ご意見をお伺いする場です。
（委員）	懇談会に共生ビジョンを決定する権限はありますか。
事務局	ビジョンは中心市である豊岡市が策定することとなっていますので、今後も関係市町と調整して策定することとなります。
（委員）	これまでの成果の話がありましたが、まだ 28 年度が終わっていないので、28 年度が終わった段階で再度、関係機関に照会してまとめるのですか。
事務局	今後、28 年度分をまとめて、次回の懇談会で報告させていただく予定です。
（委員）	但馬空港推進協議会の事務局を担当しています。5 か年の成果が記載してありますが、今年、初めて 3 万人を超えそうです。これまで 3 年間過去最高を更新していますので、一定の成果以上のものはあったと思っています。今後もまだ作成の余地があり、28 年度分も盛り込まれると聞いて安心しています。
分科会長	他にありませんでしょうか。

副分科会長 4ページの小児救急医療電話相談の成果と課題のところ「家族の不安解消ができるよう改善が求められる」との記載がありますが、具体的に相談内容はこういったものでしょうか。

事務局 子どもが家で急に病気などで体調が悪くなった時に、家族が電話をかけて症状を看護師に伝えると応急処置の方法や近くの医療機関などのアドバイスをしてくれるものです。

分科会長 電話がつながりにくいのはなぜですか。

事務局 おそらく、全国統一番号で常駐の人が少ないのか、回線が少ないのか分かりませんが、回線がいっぱいになりやすいのだと思います。早くつながれば、早く応急処置ができますので、そのほうが良いと思います。

分科会長 他に無いようでしたら次に進みます。共生ビジョンの策定にあたっては、この懇談会が協議・懇談の場となっており、この場での検討を経る必要があります。忌憚のないご意見を頂戴したいと思いますのでよろしく願いいたします。

事務局 <説明> 【次期ビジョンの策定について】

(委員) 全体的に目標値の設定については、何か特別に決まったものがあるのでしょうか。

事務局 例えば、分野ごとに計画等を策定して、そこに目標値を設定している場合は、その値を目標値として準用させていただいていますが、基本的には担当課等での検討による目標数値です。

(委員) 路線バスの目標値が路線数で目標値を設定されていますが、路線数は目標値として相応しくないと思います。路線数の維持を目標とされているのでしょうか。

事務局 ビジョンに掲載してある路線数が最終年次に維持されているのが望ましいということで設定しています。

(委員) 交通体系が色々と変わっていくなかで、路線数を維持することは少し違う気がします。民間が撤退したとしても、市町の施策として維持されると思います。また、但馬においては道路インフラが進んできています。この3月にも北近畿豊岡自動車道が日高まで開通しますし、交流人口も変わってくると思っていますし、弊社も特急バスをそれに合わせて増便する予定です。そういったことが目標値としてどのようにもっていけるか悩みです。

(委員) 産業振興ですけど、今、商工会と県がタッグを組んで、産業フェアなどを実施して、但馬にある元気な企業を知っていただくということでやっています。学生にもぜひ、知ってもらいたいです。地元ですばらしい企業があるということで地元に残ってもらうとか、大学を卒業して帰ってきてもらうといったことにつながると思います。もう一つは、但馬の中でのビジネスマッチングができるということでやっていますが、このビジョンの中にそういったことを加えていただくことが可能でしょうか。

事務局 ビジョン作成の前段に関係市町での協定が必要でして、個別に豊岡市と養父市、豊岡市と朝来市といった協定がなされています。この協定については、ジオパークに関係する市町での協定、有害鳥獣については豊岡市と養父市で締結されています。協定をするかどうかについては、各市町長や議会の判断も必要です。地方創生の取組みと定住自立圏の取組みといったことの区分けもあろうかと思っていますので、今後、内部で検討させていただこうと思っています。

(委員) 圏域の将来像のイメージがよく分かりませんが、どこの市町も人口減少対策を最大の課題として取組みを進めておられると思います。そのところを事業に落としこんだ場合、こういう取組みが必要なんだということやビジョンに掲載されている成果指標一覧は関連してくると思いますが、人口減少対策としては移住とかそういったものを入れ込まないと説得力が乏しいのかなと思います。あと、成果指標一覧の但馬空港利用促進事業の新機材導入は平成30年度ですので、修正をお願いします。また、ビジョン案の4ページに記載されている取組経過については箇条書きにされたほうが見やすいと思います。

(委員) 家は但馬にあったとしても、道路網が整備されることによって、神戸や姫路に通勤可能な状態が将来的にできてくるかもわかりませんし、そういったことが外に出て戻ってこない大きな要因になってこようかと思います。

分科会長 平日は阪神間で仕事されていて、土日だけ但馬に戻ってこられる方もあります。

副分科会長 定住促進は大変大きな問題で、各市町で取り組んでおられます。しかし、なかなか成果が見えてこないです。人が増えてこないんです。これは国・県も一緒になって、真剣に取り組んでいかないとどうにもなりません。昨日の神戸新聞によると兵庫県は下から3番目で転出のほうが多いです。6,000人以上の人が出て行ってしまっています。一方で、東京圏では増え続けています。この対策として国レベルでは文化庁を京都に移そうとしていますが、もっと力を入れていかないといけないと思います。オリンピックもありますので、もっと東京に人が増えると懸念されます。このビジョンが絵に描いた餅にならないようにしないといけないと思っています。

(委員) 価値観が変わってきているという時期に来ていると思います。都会が良いということから、「地元が良い」という価値観を親から子に、地方から都会に発信していかないといけないと思います。であれば、インターネットやスマホでどこにいても世界中とつながることができますし、それを活かさないといけないと思います。但馬の素晴らしさを発信していくことが大切だと思いますし、それがこのビジョンになればと思います。

(委員) 「但馬に帰って来なくてよい」という親御さんがいることが大変さみしいです。自分が現に暮らしていて、そこに対する誇りやアイデンティティをもっているのに、それを子どもに伝えていくことが大切であって「帰ってこいテレパシー」みたいなものを親が自分の言葉で伝えていくことが大切だと思います。

分科会長 郷土を愛する心を育むことが大切だと思いますし、やはり、教育が大切だと思います。

(委員) ネットでどんどん人が増えるかといったらそうではない。有害鳥獣の関係でも捕獲数は増えていますが、農業被害が減ってきています。それは、耕作放棄が増えているからです。学校でもトライやるウィークをやったりしていますが、その何パーセントかでもコックになりたいとかパティシエになりたいとかになれば良いと思います。ネットも良いんですが、いじめにつながるようなものが増えていて、タブレットやスマホもそればかりに慣れてしまうのが良いとは思えません。あと、この懇談会には女性の委員がいませんので、女性のパワーも必要だと思います。これからは少子高齢化がどんどん深刻化してきますので、これからは担う人たちが大切で、但馬でも小さい

頃からの教育が大切だと思います。特に、4歳時くらいから郷土を愛する教育が大事です。私も転勤族でしたが、但馬では「夫婦は絶対に一緒にいないといけない」といった封建的な社会でしたので、子どもはとても敏感ですので親の教育が本当に大切だと思います。行政サイドの支援も大切だと思います。

(委員)

防災力の向上で1回以上の訓練をやるということですが、防災はいかに迅速に動けるかということが大切だと思います。やはり、訓練が必要であり、各市町がどういった動きをするのかシュミレーションをしていくことが必要だと思います。

分科会長

本日は、兵庫県市町振興課からオブザーバーとして来ていただいていますので、ご意見等がありましたらお願いします。

オブザーバー

兵庫県には7つの定住自立圏があります。懇談会に行かせていただくこともありますが、但馬の定住自立圏は対処の分が多くて事務局は大変だと思います。人口問題が一番メインになってこようかと思いますが、定住自立圏は全国でも116ほどあるんですが、制度が発足したのが平成21年で、5年を経過した定住自立圏もありまして、但馬圏域もそうです。総務省も研究してまして、定住自立圏が開始して5年を経過した圏域については人口の減少率が減っているそうです。ダイレクトに人口減少に結びついているのかと言えれば分かりにくいですが、総論的には一定の効果が全国的に見られるということになります。

次期ビジョンにはKPIも設定されますが、現状と目標値の記載がありますが、達成状況をどう把握していくかが難しく、5年後なので単純に5で割ったら出るものとそうでないものもあり、5年経ってから達成されたかどうか分かるものもあって、評価の仕方が難しいと思いますので、評価の仕方について検討が必要かと思います。

分科会長

特にご意見がなければ、これで協議・意見交換を終了とさせていただきます。